



Plastics  
Smart

たてばやし

フラごみ

「ゼロ」アクション

Go To

# 50

つの ゼロ宣言

災害時 死者

温室効果ガス

災害時 停電

プラスチック

食品ロス

2020-12-21 たてばやし



## 目 次

- 1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
- 2 位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
- 3 現状
  - (1) ごみ処理（プラ類、ペットボトル）の流れ・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
  - (2) ごみ総処理量、プラごみ等収集量・資源化量の推移・・・・・・・・ 4 ページ
- 4 「ゼロ」を目指すためのアクション
  - (1) 市民ができるアクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ページ
  - (2) 飲食店・食品小売店（事業者）ができるアクション・・・・・・・・ 6 ページ
  - (3) 行政がするアクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ
- 5 周知啓発手法
  - (1) SNS・・ 8 ページ
  - (2) 出前講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 ページ
  - (3) 営業・・ 8 ページ
- (参考資料) たてばやし5つのゼロ宣言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 ページ

## 1 はじめに

「プラスチック」(以下、「プラ」)については、軽量で丈夫、加工もしやすいことから、様々な製品や容器包装に幅広く利用されています。その一方で、優れた耐久性や安定性ゆえに自然界で分解されにくいという特徴があることから、不法投棄やポイ捨てにより屋外に放置されたプラごみが、雨風により河川を通じて海へ流れ出ています。

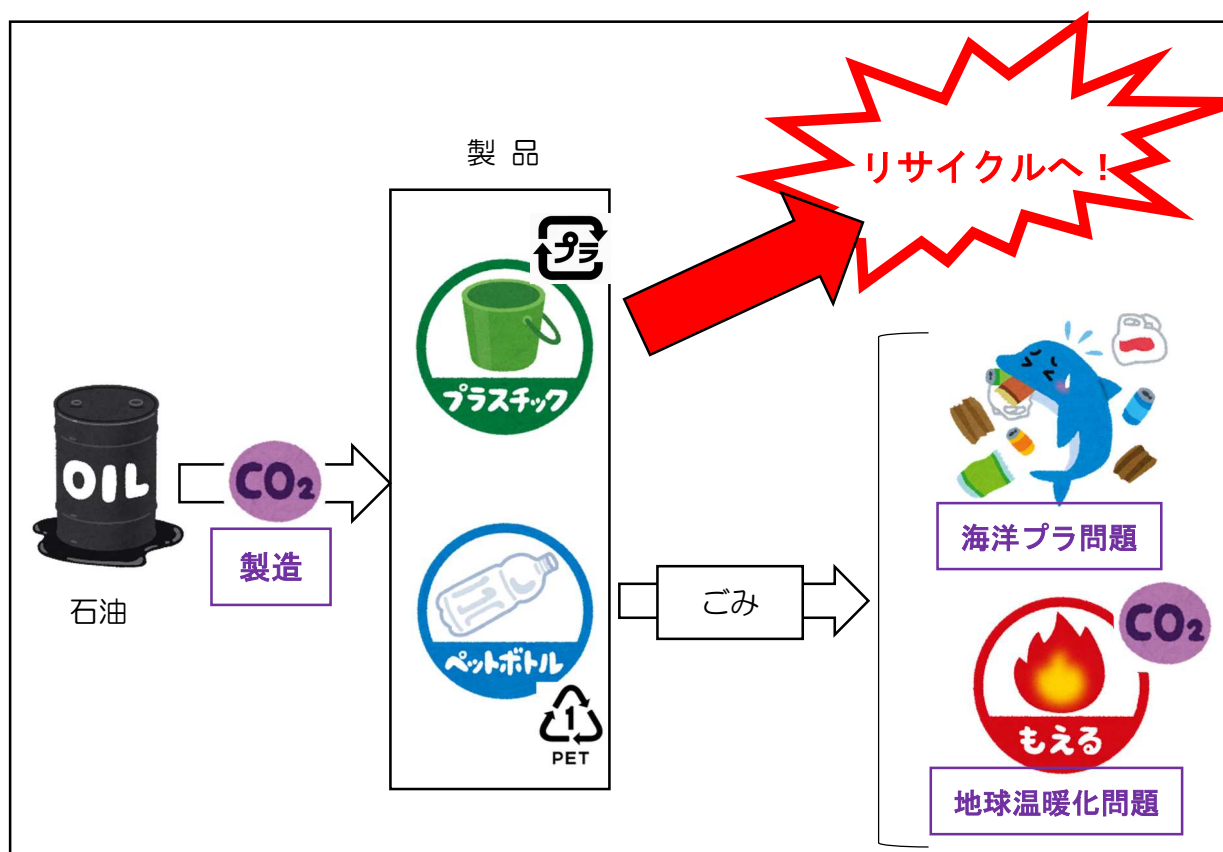
このままでは、2050年までに魚の重量を上回るプラごみが海洋環境に流出すると予測され、**海洋生物の生息環境に悪影響**を与えています。(海洋プラスチック問題)

また、プラは石油を原料とするため、焼却時には温室効果ガスを排出して**地球温暖化の一因**になるなど、その排出抑制や循環利用が地球規模での課題となっているのです。



館林市では、これまでも3R(※)による取組みを行ってきましたが、さらなるプラごみの削減と循環利用を進めるための具体的な実行プランとして、『**プラごみ「ゼロ」アクション**』を実施・推進していきます。

※3R: Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル) の略称



## 2 位置付け



3R キャンペーンマーク

Reduce  
リデュース

必要ないものは買わない、もらわない

Reuse  
リユース

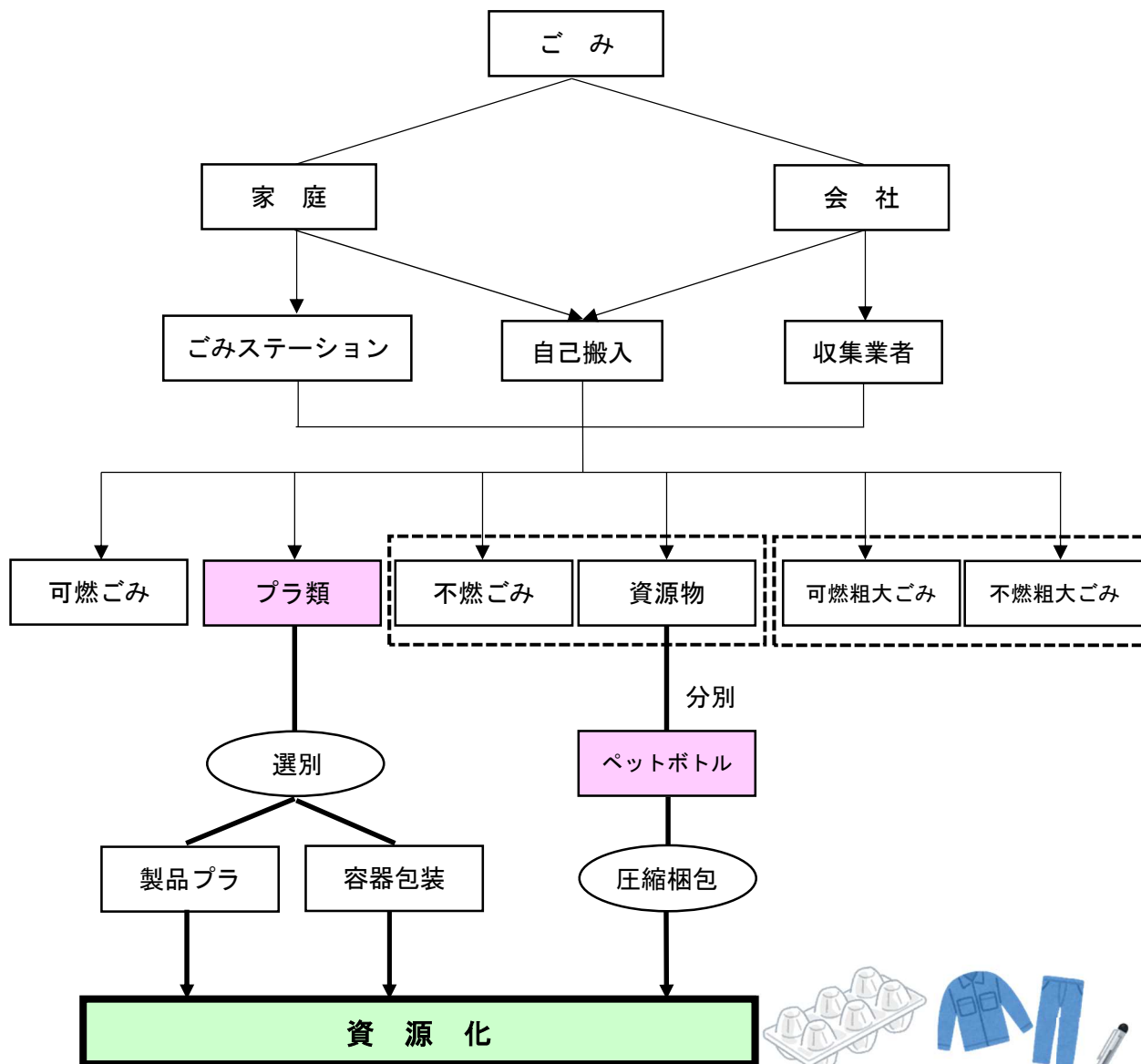
繰り返し使う、譲り合う

Recycle  
リサイクル

分別する、再生製品を使う

### 3 現状

#### (1) ごみ処理（プラ類、ペットボトル）の流れ



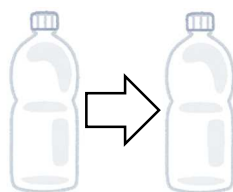
・ 固形燃料



・ コークス炉  
化学原料

・ 卵パック、作業着、ボールペン

・ B to B協定（令和4年4月～）

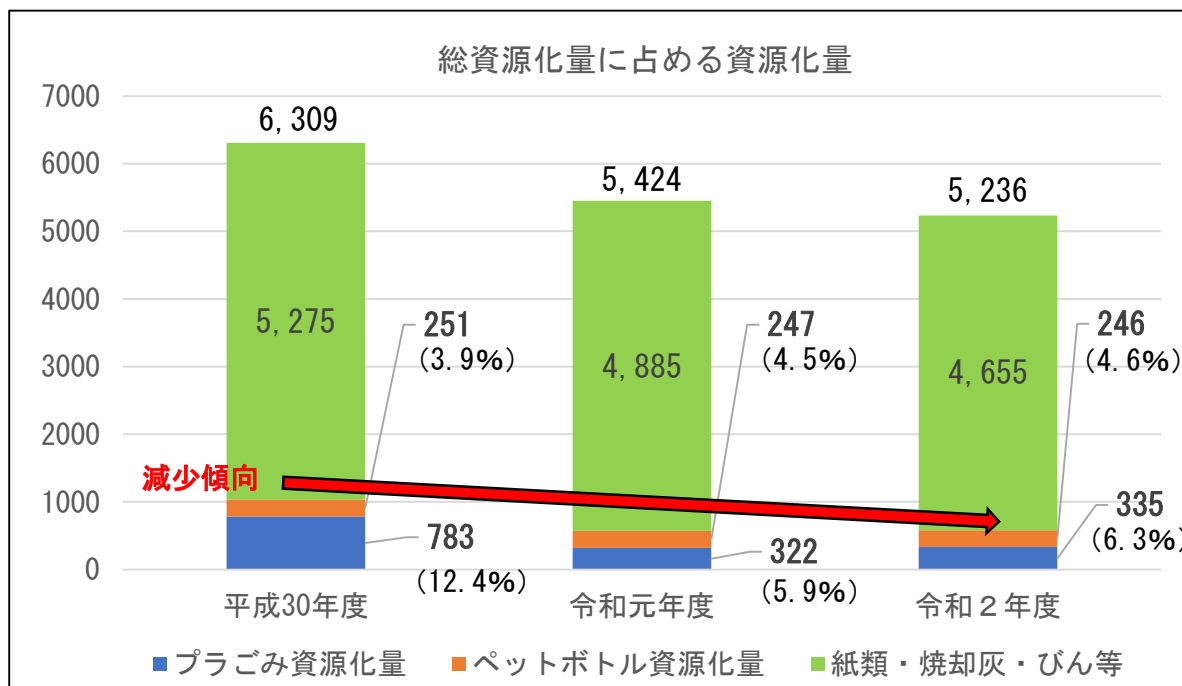
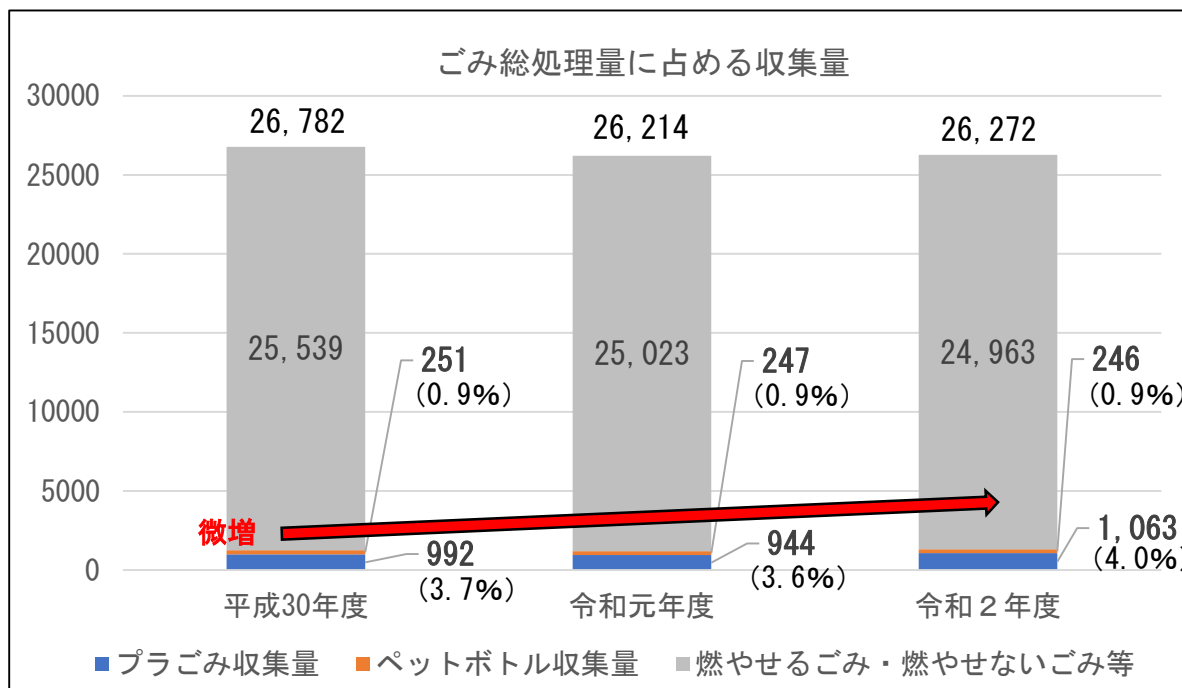


※ボトル to ボトルリサイクル協定  
安定的にペットボトルとしてリサイクルし、持続可能な循環型社会の実現に資する協定  
締結先：サントリー、アサヒ飲料

### 3 現状

#### (2) ごみ総処理量、プラごみ等収集量・資源化量の推移

(単位：トン)



※出典：館林市の清掃事業概要より

※ペットボトルについては全量を資源化

## 4 「ゼロ」を目指すためのアクション



### (1) 市民ができるアクション

#### ① 買い物

- 店頭回収ボックスの利用  
(ペットボトル、トレイ)
- マイバッグの持参
- 缶飲料、詰め替え商品の購入  
(プラ製品を買わない)



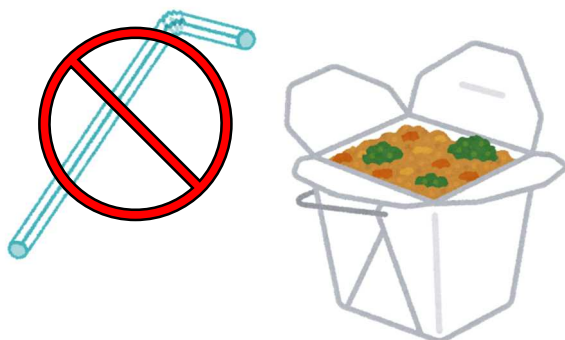
#### ② 調理

- きれいなプラだけをプラごみに入れる



#### ③ 外食・宴会

- プラ製のストローは使わない
- 残ったらタッパー (マイドギーバッグ) で持ち帰る  
(プラ製パックを買わない)



#### ④ 廃棄


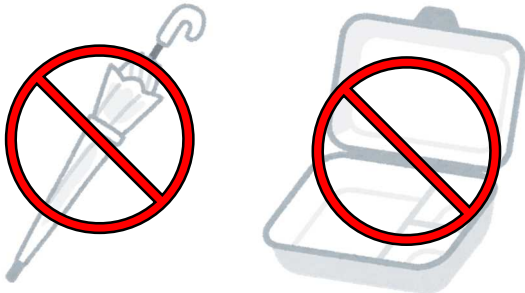


- 他の用途での利用を考えて繰り返し使う
- きれいなプラだけをプラごみに入れる



## 4 「ゼロ」を目指すためのアクション



### (2) 飲食店・食品小売店（事業者）ができるアクション

<p><b>① 企画・調達</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> プラ製の食器やカップ、ストローは使用しない (リユース食器や紙製を使用)</li><li><input type="checkbox"/> 店頭回収ボックスの設置 (ペットボトル、トレイ)</li><li><input type="checkbox"/> 生分解性プラやバイオプラの採用</li><li><input type="checkbox"/> 社員向けの給水スポットの設置 (マイボトルの普及)</li><li><input type="checkbox"/> 納品条件に、「プラによる個包装不要」を追加する</li></ul> 	<p><b>② 接客</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 持ち帰り用の<u>プラ製パック</u>の提供はしない (紙製にするか、マイバッグ・マイドギーバッグの持参を呼びかける)</li><li><input type="checkbox"/> <u>傘袋</u>の提供はしない</li></ul> 
<p><b>③ 販売</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> ドリンクシェアサービスの導入</li><li><input type="checkbox"/> <u>自動販売機のペットボトル飲料</u>を缶飲料に切り替える</li><li><input type="checkbox"/> マイカップ対応自動販売機に切り替える</li></ul> 	<p><b>④ 廃棄</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> <u>リサイクル</u>を行っている産業廃棄物処理業者への依頼</li><li><input type="checkbox"/> ごみゼロ協力店制度への登録</li></ul> 



## 4 「ゼロ」を目指すためのアクション



### (3) 行政がするアクション

#### ① 呼びかけ

- マイバッグ・マイドギーバッグの利用啓発
- 店頭回収ボックスの利用・設置啓発
- マイボトルの利用啓発
- リユース食器の利用啓発
- ごみゼロ協力店制度の普及啓発
- プラ製品の製造者・販売者による自主回収の促進啓発



#### ② 市の事業

- 公共施設への給水スポットの設置  
(マイボトルの普及)
- ごみゼロ館(リユース拠点)の活用
- 里沼クリーンウォークの実施
- 園芸用ビニールの再生処理事業  
(農業用廃資材の適正処理)への協力



## 5 周知啓発手法

---

### (1) SNS

定期的に関連情報をアップし、周知啓発を図ります。

#### ①広報館林

#### ②市公式ホームページ

#### ③館林市公式動画チャンネル

たてばやし5つのゼロ宣言～Five Zero Declarations～

<https://www.youtube.com/watch?v=EtlxVSqdpss>

「里沼の息づく 次世代へ安心をつなぐ 暮らしやすいまち 館林」の実現に向けて、市民や事業者のみなさんと共に行動するための目標として宣言した「たてばやし5つのゼロ宣言」について、より多くの方に知っていただくために制作したミュージックビデオです。

### (2) 出前講座

小・中学校の児童生徒、幼稚園・保育園の園児、公民館利用団体等を中心に出前講座を積極的に開催し、周知啓発を図ります。

### (3) 営業

①館林商工会議所と連携のうえ飲食店・食品小売店(事業者)に対して営業を行い、プラごみ「ゼロ」に向けた取組への協力を要請します。

②館林ケーブルテレビ「@たてばやし」等による広報活動を実践します。

発行：令和4年1月

編集：館林市 市民環境部 地球環境課 資源対策係

〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号

電話番号：0276-47-5126 FAX番号：0276-72-3297

Eメール：kankyo@city.tatebayashi.gunma.jp



## 「たてばやし 5つのゼロ宣言」

### 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

館林市の強靱化とともに、市民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする。

### 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

再生可能エネルギー資源を最大限に活用することや、日々の生活を見直しエコな暮らしを推進することにより、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする。

### 宣言3 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化（地産地消）により、災害時にも電力受給を継続する。

### 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

まちや水辺のプラスチックごみをなくす。

### 宣言5 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくす。